

SAJ

サバァイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバァイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.43

2022.3 月号

カンボジア孤児院

子ども自立学習 献立から調理まで



子どもたちの自立促進のため、毎週日曜日はグループごとに献立を決め、食材を購入し、調理まで行います。職員は補助のみで、基本子どもたちだけですべて行います。予算は通常の日曜日の食糧費とほぼ同額で、お金のやりくりや、地域社会との交流、献立の考え方など、社会に出てから必要なスキルを学べるいい機会となっています。カンボジアカレーや揚げ物、鶏肉の炒め物など、グループによって様々な料理をつくっており、どのグループもおおいそうでした。

支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

孤児院事業



子ども代表選挙

子どもたちの間で代表を決める選挙が行われ、男子代表には中1のロム・チャントゥリア、女子代表には中3のチェイ・チョーイが選ばれました。二人とも責任感が強く、職員からの信頼もとても厚いです。



ロム・チャントゥリア



チェイ・チョーイ

一時帰省

12月29日（水）～1月6日（木）の間に、約2年ぶりに自宅に帰省しました。家に滞在中の健康面や衛生面に関するお願いを職員から家族へしっかり伝えたくて帰省をしました。長い間、コロナウイルス感染拡大のため帰れず、久しぶりの帰省だったので、楽しそうにしている子が多かったです。帰省をできない子どもたちはドライブをしたり、公園へ行ったり、滝の近くで泳いだりと、楽しい思い出をつくることができました。



学校運営（バングラデシュ）【NDMSC】

教科書が届きました

バングラデシュでは新年度が1月から始まります。今年度に使用する教科書が政府から配布されました。毎年政府から配布される教科書は遅れて学校に届くので、今回は事前に教育省に依頼していました。そのおかげで今年度は遅れることなく教科書を配布することができました。



孤児院卒園生の活躍

プノンペン事務所より

プノンペン事務所では、奨学生に学費や生活費を支払ったり、卒園生（OBOG 会）の管理をしています。孤児院を卒園した子どもたちが、大学進学や就職など活躍の場を広げています！！そこで、感謝を込めて皆様にご報告していきたいと思います。



デット・ソパンナー

シアヌークビルで海軍兵学校
(卒業)
年齢: 23 歳
現在やっていること:
海軍学校職員
将来の夢:
日本や中国で
軍隊の勉強を続けたい

日本人の皆様、特に日本のお父さんお母さんいつも応援して頂いて本当に感謝しております。皆様のご支援がなかったら今海軍学校の職員として働くことはできていません。私の夢は日本や中国で軍隊の勉強を続けることです。日本の皆様はみんなカンボジア国民に対しても親切で、援助もしていただいています。カンボジアと日本がもっともっと長い関係になるように祈っています。日本が大好きです。



メン・スレイキアン

CAMBIZIAN 勤務
年齢: 23 歳
現在やっていること:
起業サポート
将来の夢:
事業を起こしたい

私は今年大学を卒業しました。日本に1年留学した後カンボジアに戻り、大学最後の4年生ではコロナのため1年中ずっとオンラインで勉強をしました。インターネットの調子が悪く、試験の時などは困りました。また友達とのコミュニケーションが減り、卒業式も延期になりました。そして私は現在CAMBIZIANという会社に就職し、起業のサポートをする仕事をしています。私の夢は事業を起こすことなので、今の仕事を頑張りたいです。そして最後に私の父と日本の皆様に感謝申し上げます。今私が頑張れて、これからも頑張れるのは皆様のおかげです。ありがとうございます。

日本事務局からの報告

学校建設

2021 年度建設予定の 4 校の詳細が決定しました。以前の校舎は古くなり、勉強をし続けるのが困難になってきていました。新しい校舎になれば、よりよい環境で子どもたちが勉強できるようになるでしょう。この 4 校を含めると 2021 年度では 15 校建設したこととなります。来年度は 18 校建設する予定です。2025 年度末までに 400 校の建設を目指します！

no330 ピアームチョー小学校
(プレイヴェン州)
小学校、教室 5・トイレ 2

no331 ポットリアム小学校
(ポーサット州)
小学校、教室 4・トイレ 2

no332 ワットコー小学校
(バットンバン州)
小学校、教室 4

no333 チュラッカントウ小学校
(コンボンチュナン州)
幼稚園、教室 2



ワットコー小学校
洪水で水浸しになった様子



ポットリアム小・中学校



ピアームチョー小学校

理事評議員会の報告

《構成メンバー》

- 代表理事：渡邊美樹
- 理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮
- 業務執行理事：青木茂雄
- 評議員：大江光正、清水邦晃、鎌田厚司、矢野博文、戸澤昌夫、大城慶正、白柳直美
- 監事：片山進平、清野貴彦

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

第 224 回理事評議員会が 2022 年 2 月 28 日に開催されました。(一部オンラインにて)

〔報告事項〕

- 報告 1：孤児院卒業生の大学受験状況報告と現高校 3 年生の進路希望
- 報告 2：孤児院報告 近況報告
- 報告 3：プノンペン事務所報告
- 報告 4：バングラデシュ報告
- 報告 5：会計報告



1月号では、孤児院の高校3年生7人が卒業試験で歴代最高の成績を収めたことと報告しました。2月号では、孤児院から3人が日本語検定試験5級に合格したことと報告しました。今月はバングラデシュから嬉しい報告です。

バングラデシュの首都ダッカの郊外にあるナラヤンクル・ドリーム・モデル・スクール&カレッジ(NDMSC)は、SAJが2013年に開校した中高一貫校です。私が東京都文京区で経営する郁文館夢学園の協力のもと、郁文館独自の『夢教育システム』を導入しました。校名にある“モデル”とは、NDMSCがバングラデシュで“モデル校”と認知され、『夢教育システム』をバングラデシュ全国に広めたいという思いを込めたものです。

開校当初、バングラデシュで子どもを持つ保護者にとって、学校は「学力を高める場所」と認識されていました。一方、郁文館の『夢教育システム』は、「人間力・学力・グローバル力を総合的に高めていく」ことを目指しており、その基盤となる生活習慣の確立にも力を入れています。例えば、ゴミは床でも道でもどこに捨てていいというバングラデシュの悪しき習慣を打破すべく、校内美化活動や地域清掃活動などにも力を入れてきました。当初は保護者から「勉強以外の余計な

ことは教えるな」とクレームをもらったりもしましたが、開校から9年間、保護者会を定期的で開催することで保護者の理解度も少しずつ高まってきました。そうした不断の努力の結果、「学力向上」という果実に結びつきました。

先日、高校卒業試験の結果発表がありました。卒業試験結果は、A+、A、A-、B、C、D(不合格)の6段階で評価されます。NDMSCの卒業生65名の結果は、全員合格はもちろんのこと、A+10名、A30名、A-25名で、B以下は一人もいませんでした。この成績は快挙で、NDMSCのあるガジプール県でも大きな話題になっています。

これも、『夢教育システム』を理解・実践し、コロナ禍でもオンラインや家庭訪問で生徒に寄り添い続けた現地教職員の努力の賜物です。

NDMSCがバングラデシュのモデル校として認知されるのも、そう遠くないことかもしれません。来年は10周年を迎えます。10年前の開校式同様に、皆様と一緒にNDMSCの10周年を現地で祝える日がくることを楽しみにしております。



ふれあい サポーター 募集

文房具や制服がないため学校に通えない子どもたちが増えています。ふれあいサポーターになって“子どもたちの学習の機会を守っていききたい”と思われる方は、SAJ事務局までご連絡ください。

※ふれあいサポートに関しましては、会員に加入が必要となります。あらかじめご了承ください。
※ご不明な点、ご質問等ございましたらお気軽にSAJ事務局にご連絡ください。



貧しい
子どもたちは
まだまだ
大勢います！

ご支援いただいた寄附

2022年

1月の寄附金合計 5,477,465円

(内訳) 会員会費	1,732,460円
一般寄附	418,757円
指定寄附	3,326,248円

募金箱回収ありがとうございました

2022年1月募金箱回収

- ゴーゴーカレーグループ 32店舗 □SOMPOケア ラヴィーレ高島平
- ワタミ(株) 東松山(株) センター □ワタミ(株)「おあしす(ワタミ本社5F)」
- ワタミ(株)「鳥メロ」三ツ境南口店、西宮今津店、「ミライザカ」神保町店

募金箱回収してくださった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2021年4月現在のものです。
募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。



物品寄附



現在、輸送が遅れていますがカンボジアの子どもたちに送り届けます！

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額
(2001年度～2020年度)



32億

448万1,028円

現在、SAJの建設した
学校で授業を
受けている児童・生徒の人数
(2021年3月現在)



100,943人

SAJの建設した学校で
お米を受け取った
児童数の累計
(2006年度～2020年度)



12,312人

建設した学校の合計
(2001年度～2020年度)



318校

ふれあいサポートプランで
文房具や制服を受け取った
児童数の累計
(2003年度～2020年度)



16,346人

SAJの建設した学校で
朝食を支給された
児童数の累計
(2006年度～2020年度)



125,879人

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附 ●ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由) ●孤児院運営寄附(金額自由) ●孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月) ●奨学金寄附(金額自由) ●学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

インターネットでの寄附が、
便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただく
ことができます。寄附の種類も選べます。

<https://www.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局: 00140-5-345903

●三井住友銀行: 蒲田支店(普) 4353626 口座名: 公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。